PIWU
郵政産業ユニオン
第３０２号　２０２５年５月１日
郵政産業労働者ユニオン埼玉支部
埼玉県上尾市谷津１～８７～１　上尾郵便局内
発行責任者　大沼秀敏

声上げれば政治動く

～祝！メーデー～

埼玉中央メーデーが行われました

メーデーの歴史と起源とは

世界のメーデーの起源は、１８８６年５月１日、アメリカ各地で８時間労働制を求め35万人がストライキに立ち上がったことにあります。12時間から14時間労働が当たり前だった当時、「８時間は働き、８時間は休み、８時間は自由な時間」で暮らすことが働く者の大きな要求でした。１８９０年５月１日、再度ゼネストを構えたアメリカの労働者のたたかいにヨーロッパ各地の労働者が応え、世界的な労働者の祭典としてのメーデーが誕生しました。

日本では「８時間労働時間制実現」や「失業防止」などの要求を掲げ、１９２０年５月２日に東京・上野公園で初めて開催されました。途中、第２次世界大戦で９年間、開催中止に追い込まれましたが、労働者のたたかいの歴史と伝統をもつ日本のメーデーは今年で96回目を迎えます。

埼玉県中央メーデー

第96回埼玉県中央メーデーが、さいたま市の北浦和公園で開かれ、１１００人が参加しました。参加者は「憲法守ろう」「最賃上げろ」と声を上げて集会とパレードを行いました。

あいさつした藤田省吾実行委員長（埼労連議長）は「高額療養費負担上限額の引き上げ凍結、埼玉県議会の『インボイス制度廃止』の意見書可決など、国民が声を上げ、行動することで政治が動いた」と強調。参院選で、新自由主義を転換する政治の実現を呼びかけました。

晴天のもと北浦和公園で行われた埼玉中央メーデー

上尾・桶川・伊奈地域

メーデー前夜祭

メーデーに先立つ４月25日、上尾市コミニティセンターで、第36回メーデー前夜祭が行われました。

地域の労働組合や民主団体が参加し、「最低賃金引き上げを」「給食の無償化を」「郵政公共サービスの充実」を訴えました。

集会後、上尾駅西口までパレード行進し、道行く市民にメーデー参加を訴えました。

上尾地域ではメーデー前夜祭が行われ市内をパレード行進